

『松無古今色』

『松

無古今色』は（松に古今の色なし）と読みます。茶席の床に、よく掛けられる禅語です。この句は『竹有上下節』（たけに上下の節あり）と対句で、この二句で伝える意味を完結させます。床に『松無古今色』の軸一幅が掛けられていたなら、次に続けて『竹有上下節』を心中に想起することが大切です。また逆も真なりで、『竹有上下節』の軸一幅が掛けられていれば、この言葉の前に『松無古今色』があると心すると良いのではないのでしょうか。

『松

無古今色』の表面的な意味は、松は四季を通じ年月を越えて青々として色を変えることがなく、お目出度い語句と解釈するのが通常だと思えます。対句『竹有上下節』の表皮的な意味も、青々とすくすくと天を突くように伸びる竹の目出度さを表しているといえらるでしょう。しかし、禅語として意味するところは別にあります。松の色が変わらないように、人間本来の尊さは時を越えて平等である。しかし竹に上下の節があるように差別があるのも必然。この二つ句が対比しながら解くところは、平等と差別をそれぞれ切り離して見なくてはならないと教えています。人間はみんな平等でありながら違いもある。そして明確な違いがありながらも平等であるのです。平等即差別であり差別即平等であると論じてくれるのです。これは、般若心経にいう『色即是空、空即是色』を平易に表しているとも考えられます。

男

も女も平等です。肌の色の違いがあっても平等です。住む国が違ってもです。金持ちであっても貧乏でも、人としての尊厳に変わりがあるう筈はありません。しかし、男性と女性では体力や身体的な特徴は異なります。同じ性でも、足の速い人もいれ

ば美声の人もいます。訓練によって身体能力の差は縮めることは出来るでしょうが、持って生まれた身体能力には既に差があります。

私

の髪は質は非常に強い癖毛です。ビートルズが世界中に流行らしたマッシュルームカットは、直毛のさらさら髪でなければ到底無理で、縮れ毛で剛毛の私には出来ないヘアースタイルです。1996年6月にビートルズが来日すると、直毛の友達は競ってマッシュルームカットにしたものです。私はそれを羨ましく見るばかりでした。小学生の頃の話ですが、合唱コンクールというとき必ず合唱の一員に私は選ばれました。声が良かったらうと自惚れていたところがありませんでしたが、選ばれる理由は声の良さではなく声の大きさだったようです。ですから、独唱には決して選ばれず、その他大勢組でした。声帯にも遺伝があるのでしょうか。美声の親を持つ方は、得てして美声が多いように思います。身体的な能力や生活環境、男女の性、家計の差、様々な違いがあります。差別即平等。人は全て平等の尊厳を持って存在しています。しかし、男性として生まれるか女性として生を受けるか、どのような人種として何処の国で出生するか、先に生まれるか後に生まれるか。人に多くの違いがありますが、人の尊厳は普遍。平等即差別であります。

自

分と違うことを認め理解しようとするこそが、人として互いに尊重し、より良く生きて行く為に必要なことを、大人の私達がしっかりと心に留め、子ども達にそれを伝えて行くことが、とても大切だと思うのです。

参考文献『禅語の茶掛一行物』芳賀幸四郎著 淡交社 昭和五十一年